

1 番 瀬 戸

皆さん、こんにちは。

受付番号第3号、質問議員1番、瀬戸恵津子でございます。

件名は、「持続可能な地域をめざして」。

新型コロナウイルス感染症拡大が始まり約1年超となります。当町でも健康福祉センターにおける、高齢者のワクチン集団接種と、かかりつけ医による個別接種が行われる。ワクチン接種者の割合が進めば好循環が生まれ、やがてウィズコロナの生活に慣れていかなければならない。国からの補正予算により感染症対策、経済支援対策、生活困窮対策等が進められており、今までも言われている自治体のデジタル化再生可能エネルギー活用の推進、マイナンバーカードの取得向上等のさらなる実効性が求められていく。地域経済と住民生活はコロナ禍対策の自粛により活力が低下している。人と人が顔を合わせる場が減ると、そのまま地域の活力は失われる。

そこで、感染症に対して安全安心の工夫を行い、より持続可能な地域の構築を目指すべきと考え、質問します。

1、緊急経済対策による事業者への効果をどのように捉えているか。また、今後の取組は。

2、本年度自治会にコロナ対策として新たな助成金が予算付けされたが、内容は。

3、高齢者のワクチン接種率の目標の設定は。また、高齢者以外の方の接種計画への考え方は。

4、ウィズコロナに向けた町長の展望は。

以上でございます。

議 長

答弁願います。

町長。

町 長

それでは、瀬戸恵津子議員から「持続可能な地域をめざして」についての御質問をいただきました。

初めに、1点目の御質問の「緊急経済対策による事業者への効果をどのように捉えているか。また、今後の取組は」についてであります。新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者向け支援策として、令和2年度には、国や県、町などの様々な助成制度の創設に対応するため、町商工会で無料の

相談会を実施していただきました。さらに、町では、プレミアム付商品券を発行することにより町民の皆様の生活の支援と地域経済の活性化を図ってまいりました。

事業の実施効果という面で申し上げますと、全ての事業において利用者アンケートを実施した結果、おおむね満足との結果であったため、これらの対策は効果的であったと考えております。特に、中小企業・小規模事業者等持続化補助金については、山北駅前商店街へ開業する事業者を支援した事例や、季節的な営業から通年営業を可能にするために支援した事例のほか、来店時の接触機会の低減やコロナ禍における新商品の開発支援等を行うなど、自ら考えて行動する事業者を積極的に支援することができたと考えております。

今後は、中小企業・小規模事業者等持続化支援助成金や中小企業・小規模事業者等持続化補助金を拡充して実施するとともに、商工会における無料相談会や商工会費の助成を引き続き実施してまいります。

また、プレミアム付商品券の発行を企画し、町民の皆様とともにコロナ禍を乗り切るための経済対策を考えてまいります。

今後も商工会をはじめとする関係機関と協力し、必要な対策を実施し、地域経済の持続的な発展に取り組んでまいりたいと考えております。

次に、2点目の御質問の「本年度、自治会にコロナ対策として新たな助成金が予算付けされたが内容は」についてであります。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、昨年度から、各自治会が実施している活動やイベントの多くが中止または延期、縮小を余儀なくされており、感染拡大の影響が長期化すれば、今後さらに、地域コミュニティ活動の核となる自治会活動が停滞し、地域や人とのつながりが希薄になっていくことが懸念されております。

そこで、本町では、地域や人とのつながりを絶やさず、停滞した自治会活動を活性化させるために、自治会活動活性化応援助成金として、今年度、新たに助成金を交付することとし、先般開催された、令和3年第2回山北町議会臨時会において、議決をいただいたところでございます。

この助成金は、町内に6団体ある連自治会を対象に、各連自治会に均等割として100万円、さらに各連自治会内の自治会加入世帯数に1,000円を乗じた額を加算し交付するものです。

助成金の対象となる事業といたしましては、各自治会が実施する活動やイベントに係る感染防止対策のための経費をはじめ、自治会活動の活性化や安定のための事業全般を対象としておりますので、各連合自治会におかれましては、本助成金を有効活用し、地域におけるコミュニティ活動を再開されることを期待しております。

次に、3点目の御質問の「高齢者のワクチン接種率の目標の設定は。また、高齢者以外の方の接種計画への考え方は」についてであります。高齢者への接種率は、国の「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」に基づき、市町村が策定する実施計画書に定めるもので、本町では80%以上としております。この数値につきましては、新型コロナウイルスワクチン接種が、本人の同意に基づく任意接種であること、また、ワクチンに含まれる成分に対して重度の過敏症の既往歴がある方など、接種を受けることができない方もおられることを考慮して設定いたしました。

高齢者以外の方へのワクチン接種につきましては、国や県の方針及びワクチンの供給状況と足柄上郡5町で集団接種会場とコールセンターを共同運営しておりますので、5町の調整内容を踏まえて、順次開始する予定で準備を進めております。大枠のスケジュールといたしましては、高齢者の方の接種が接種計画の水準に達した後に、国・県と連携して64歳以下の基礎疾患を有する方を対象に接種を開始いたします。

その後、64歳以下の方の接種を開始する予定ですが、ワクチンの供給量が十分な状況であった場合には、基礎疾患を有する方と同じ時期に開始することも検討しております。

次に、4点目の御質問の「ウィズコロナに向けた町長の展望は」についてであります。新型コロナウイルス感染症の拡大は、今後、年単位の期間で継続することが想定されているため、ウィズコロナ時代に対応した新しい生活様式や経済活動を促進し、施策の転換を図るとともに、感染拡大の防止と町民生活・経済活動の維持・回復を両立し続ける必要があります。

そして、行政としては、感染症対策の両輪となるワクチン接種と感染抑制を最優先に推進することが重要であります。このため、ワクチン接種をはじめとする医療体制の充実を図るとともに、新しい生活様式に基づいた健康増

進に向けた取組を啓発し、町民が必要以上に感染症を恐れることなく、健康に日々を過ごすことができる環境整備を進めてまいります。

さらに、コロナ禍における町内企業、個人事業者の事業継続・事業回復に向けて、引き続き、最大限の支援を行い、経済活動が滞ることを抑止するとともに、社会的弱者の支援や子どもの学びの保障などにより、町民の安全・安心な暮らし、子どもの健やかな成長に資する取組も進めてまいります。

また、引き続き、町民・事業者に必要な情報を正確かつ迅速に発信し、さらにコロナ禍を踏まえた町民サービスの向上を図るため、行政サービスのデジタル化について調査研究等を進めてまいります。

現在、自治体では「人口減少」と「新型コロナウイルス」という二つの長期的な危機に直面しております。私は山北町の首長として、しっかりとリーダーシップを発揮し、町民と共同歩調を取りながら、根気強くこの状況に対応してまいりたいと考えております。

議 長  
1 番 瀬 戸

瀬戸恵津子議員。

瀬戸でございます。

連日コロナの状況もいろいろ変わっていております。そして、また町長も毎回だと思うんですが、集団接種の会場にお越しになって、町民の方の様子とかいろいろ御覧になって、どのようなお考えお持ちになったのでしょうか。

議 長  
町 長

町長。

ワクチン接種に関しては、ちょうど5月21日か20日から初めて3週間以上たって2回目の接種がついこの間木曜日と土曜日終わった方がいらっやいます。やはり、山北町としては、町民の方がどういうふうに希望しておられるのか。それを実際に聞いて、そして改善できるところは改善して、また不足しているところがあれば補って対応してまいったつもりでございます。おおむね皆さんの反応はよくて、早くできてよかった。あるいは、またキャンセル待ち等でちょっと遅れると思ったけどもできてよかったとか、そういったような反応をいただいております。

ですから、これからも64歳がまた始まりますけども、ぜひとも早く皆さんに、希望される方に早くワクチン接種ができるようにしていきたいというふ

うに思っておりますので、毎回毎回やはり先生も変わる、あるいはボランティアの人も若干入れ替わりはありますので、それによって様々な問題というんですか、若干滞ったりするところがありますので、そういったものを注視しながら、より皆さんに打っていただくようなスピードアップをしていきたいというふうに思っております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 新型コロナワクチンにつきましては、また3番目のところでお伺いいたしますので、それについては職員の方もものすごく丁寧に対応してくださって、町民の一人として、大変頭の下がる思いでございました。大変スムーズにうまくいっているのではないかなと感じております。

しかし、かかりつけ医についてはちょっと情報が無いのでございますが、町としてはどのようなふうにかかりつけ医のほうもスムーズにしているのではないかと思います。感触ありましたお話してください。

議 長 保険健康課長。

保 険 健 康 課 長 かかりつけ医につきましても、6月1日から開始が始まっておりまして、町内も町外の病院につきましても始めているところでございます。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 課長も入院していらしたところ、誠に恐縮で、立ってお答えいただくのも申し訳ないと思うのですが、かかりつけ医に関しては、何か町側に相談とか何かそういう声はなかったでしょうか。

議 長 保険健康課長。

保 険 健 康 課 長 南足柄市を含む1市5町、衛生部会と足柄上医師会との話合いの中で、6月1日から接種を始めるということを取決めをしまして進めておりまして、医師会との連絡についてはしっかりと約束事をつくった中で進めているところでございます。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 今お答えになっていた約束事とありましたが、差し支えなかったらちょっとお聞かせ願いたいと思います。

議 長 保険健康課長。

保 険 健 康 課 長 一つ申し上げますと、5月17日から予約のほうを受け付けるといった取

決めをさせていただきました。5月17日から6月1日以降の接種についての受付を開始するという取決めをさせていただきました。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 今後これからインフルエンザのワクチンようになっていくであろうということを期待しながら、またかかりつけ医が、家庭医をちゃんと持つとか、また昨今言われていますが、かかりつけ医のない方もいますので、やはりそこから辺の今後の、そういう意味では集団接種はすごくよかったと思うんです。かかりつけ医というのはあまりいない方たちにとって。ですから、そういうこともよく、今後医師会とも連携をよくお取りになって進めていただきたいと思うところでございます。

それでは、1番の緊急経済対策による事業への効果をどのように捉えているのか。また、今後の取組について、伺わせていただきます。

令和2年度の経済対策ですね。昨年ですね。果たして、事業者や町民の思いをどのように分析して捉えているか。そして、今年に反映された点はどんな点かというようなことを伺います。

議 長 商工観光課長。

商 工 観 光 課 長 令和2年度に行いました事業者の支援対策ですが、こちらにつきましては、交付金の活用をさせていただいた形でしたので効果の測定が必要になりました。そこにもちまして、2月1日から3月29日までの間、アンケート調査を実施させていただいております。その結果で、今回こちらの答弁にもありますとおり効果があったという形でいただいております。

また、これとは別に、商工会さんのほうでも独自にアンケート調査などをさせていただいております、そこでも効果があった的な回答があったということを確認しております。

以上です。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 なかなか表面的で実態が分からないと商工会のほうでも言ってらっしゃいましたけれども、拡充した部分について、もしよろしかったらお話ししてください。

議 長 商工観光課長。

商工観光課長 拡充ということですが、多分この4月補正で御承認いただいた支援助成金のことになってはいると思いますが、現在6月7日から交付申請の受付を開始しております。翌日6月8日に、まず商工会のほうの無料相談会のほうが始まりました、いろいろと、その話の中で受けて、今、支援助成金のほう受け付けております。

拡充の内容ということなのですが、一応、20%以上、去年は20%から50%未満の減少率というところでしたが、国の持続化給付金というものがなくなりましたので、現在ございませんので、20%以上は全て対象という形で取扱いさせていただきます。そこは拡充部分の主なものですね。

以上です。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 瀬戸でございます。

町独自の対応が大変ありがたく、重要になってくることだと思います。

じゃあ、それともう一点の助成金というのを二つ両方とも使えるという形でよろしいですね。

議 長 商工観光課長。

商工観光課長 まず、先行して支援助成金のほうを実施しております。現在持続化補助金に向けて細部の部分を商工会などとも詰めている最中でございます、近日中に要綱などを定めさせてもらいたいと考えておりますが、最終的には、7月上旬ぐらいまでには受付ができるような体制を整えたいと考えております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 スピード感は大変重要なことだと思いますので、できるだけ早く支給ができることを願うところです。

1年後に税収とかなどに1年後になって現れてくるのではないかとということも含めまして、町ではどのような、あまりマイナス思考になってしましますが、あまりそれが下がらないようなために今一生懸命いろんな手を打ってくださっていると思うのですが、特に何か1年後に対して心配とかございませぬでしょうか。伺います。

議 長 町長。

町 長 コロナが始まって1年たってしまいました。当初は、観光業あるいは飲食

業、そういったところの落ち込みというのが非常に大きかったと。今現在も続いているわけですが、それに対して、その仕入先ですね。例えば、飲食店であればお酒とかそういったものが減ってしまったというような、そういったようなことが非常に問題になっております。そういった意味では、そういった業種の方を何とか救える方法がないかというようなことで考えておりますので、そういったようなことができれば一番いいというふうに思うんですけども、なかなか飲食業なら飲食業で仕入れから何から食材から飲物まで、全部そこでつながっておりますので、そういった意味でどこかにスポットを当てて救えるというのは、なかなか難しいのだろうというふうに思っておりますので、そういったようなことがこれから可能かどうか考えてまいりたいというふうに思っております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 御回答の中に、コロナ禍でアンケートを取った中でも私もよく見たのですが、事業者と、使うほうの利用者との考え方は若干ちょっと乖離があるようには思えたんですね。それで、今度のこのプレミアム商品券を発行するという企画しているということですので、コロナ禍を乗り切るための経済対策と一緒に考えていこうよということですが、どのような内容になっていくのでしょうか。プレミアム率とか、いつ頃発行して、形態は大体前回と同じように期間の短いものになってしまうのか等をお聞かせ願いたいと思います。

議 長 町長。

町 長 なるべく早く議会の皆さんの御承認を得なければいけませんので、なるべく来月でも何か早いうちにやりたいというふうに思っておりますけども、可能かどうかは先ほど言ったように、もう少しプレミアム商品券は出したいですけども、使える範囲をもっと広げたいというふうには思っております。そういった意味では、ぜひそういった事業者の方にも違う方法で提案をしていただければありがたいかなというふうに思っております。例えば、一つの例で言うと、先ほど言った、例えばお酒があれなのを直接買うことができるというようなプレゼンですね。そういったものがあれば、皆さんも直接そういうところへ頼めるのではないかというふうに、今でも買うことはできると思



うんですけど、なかなかそれに対して商品券を使うという発想が直接にはありませんので、できるだけそういうような事業者の方が直接販売ができるようなシステムがうまくつながれば、商品券は使っていただけるのではないかなというふうに思っております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 プレミアム商品券の使える範囲ということのほか、よい考えは庁内で研究されているのでしょうか。伺います。

議 長 商工観光課長。

商 工 観 光 課 長 まず、こちらについて、プレミアム率であったりとか、実際に使える時期というのは、まだもう少しちょっと調整が必要だと考えております。当然、近隣の自治体などの動きもございますし、それらを参考にしながらやっていきたいと考えておりますので、また、しかるべきに提案させていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 まだ、これから議会にも上がってくることでございますので、これについては、そのときに、また意見を言わせていただきたいと思います。

しかしながら、議会へ上がってくるときには、もうほとんど出来上がっているものでございますので、ぜひ、事業者の声を取り入れていただきたいと思います。事業者さん、やはりチケットがどこにどのくらい、どの方面に行っているとか、どういう形、どの事業所に行っているとかということは分析されているのでしょうか。

議 長 商工観光課長。

商 工 観 光 課 長 令和2年度のプレミアム商品券の事業所の一覧のほうは、一応整理をさせていただいております。こちらのほう、1番、2番については、岸地区、向原地区と言っているんですかね。事業者さんという形は、ある程度ありますが、それ以外の事業者さんについては全て当然入っております、駅前の商店街の方々とかもかなり入ってくれているほか、あと自動車事業関係の事業者さんですね。そういったところもお使いになっています。一応整理のほうはさせていただいております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 私もアンケートの範囲になるのと、あと商工会に伺ったことぐらいしか情報はないのでございますが、やはり観光業がすごく痛手を被っていると。そして、やはり今おっしゃいましたように大型店のほうに行ってしまうのが多いと。商人の方たちは思っているんですけど、利用者は500円券までも、なぜ向こうで使えないみたいな、そういうやっぱりギャップがあります。ここは、ぜひ山北町のやることですから、やはり商工事業者のための部分も公平性があるほうがよいと思いますので、今後もその辺についての御検討をよろしくお願ひしたいと思うんですが。

議 長 町長。

町 長 おっしゃるように、プレミアム商品券だけを出すと、かなりの部分が、大型小売店にいつてしまうことも事実でございますんで、小さなところが使えるというのは、使えることは使えるんです。ただ、皆さんがそこへ買い物に行っていないということが問題だというふうに思っていますので、それらが、どういうものを売りたいのか。そういったところをはっきりさせて、そういったようなものを組み合わせるような、もう一步踏み込まないと、ただうちでも使えますよというだけでは、なかなか町民の方が使っていないということが分かっておりますので、さらに、何をメインにして、うちは売りたいのかということを事業者の方とよく打合せしながら出していきたいというふうに思っています。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 やはり事業者とお話合いとか、そういうことがすごく必要になっていることだと思います。総会とか、そういうことがコロナのことでできないので、自分たちの思いもなかなか伝えられないみたいなふうなこともおっしゃっておりましたので、よくそのところは救い上げて、よく意見をもらって、町長もよく山北駅の商店街の活性化とおっしゃいますけれども、実際に、じゃあ何をするかという、何をしたかという結果も大事ですので、ぜひ今年のプレミアムも成功するようにやっていただきたいと思います。いかがですか。

議 長 町長。

町 長 おっしゃるように、何とか前回と同じような、出すもの自体はさほど変わらないと思うんですけど、使い方等について、町としても工夫ができるよう

なことをやっていきたいというふうに思っております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 その中で、今後についての形の中でも出てくると思うんですが、山北町の商工会、商工、観光、工業、農業、農業はあれですけど、すごく観光に依存、一応観光立町ですので、例えば山北ブランドに対する商品開発について、どこか、どのような計画というか、山北ブランドを、もっとブランド価値を高めるような良い品物を探す、そのためにはそういうことを指導してくれるような人的支援も必要ではないかと思うんですが、そういうことについての取組はございますでしょうか。

議 長 商工観光課長。

商 工 観 光 課 長 山北ブランドについても、実は、今後事業化予定である持続化補助金のほうの関係で一つのテーマとさせていただいております。特に、山北ブランドに関しての登録申請をするような取組をする場合には、助成補助金についてもプラスアルファのほうの出せるようなのか、そういった加算事項という形のものもちよっと整備させていただきたいと考えております。

また、補助対象の経費のところ、この持続化の補助金なんですが、もともと専門家の経費、当然、ここの謝金というのも発生してきますので、その部分も助成のメニューの中の一部に入っておりますので、そこら辺を活用していただければと思っております。

以上です。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 個別相談の中で、中小企業診断士と社会保険労務士とかも来てくださってその相談に乗っていただいたこともすごくありがたいと言っておりますので、そういうことを今後も丁寧な支えをしていただきたいと思います。

次に、2つ目のほうに移りたいと思います。

すみません。ここで、観光業への支援のこともあります。今、人的支援と申しましたが、例えば、山北には、すごくすばらしい自然があると、それで先ほども出てましたが洒水の滝やら、またD52もあると。中川のほうには、すばらしい温泉もあるし、箒杉もある。そういうところの一連のものを、やはり国のほうでもアドバイザーみたいなものを用意して、メニューを用意し

ているので活用したらどうかということも提案されるんですが、そういう面について、人的支援について国のほうからいただくとかというお考えいかがでしょうか、お持ちではないでしょうか。持つべきだと思うんですが。

議 長 町長。

町 長 今、様々なところからそういったような提案を受けております。ぜひとも国の支援、要するに人的支援のことで、例えば地域協力隊とかそういったようなものもその中に入っておりますんで、そういったものを活用しながらやっていきたいというふうに思っておりますけど、なかなか不慣れでございまして、そういったような提案者の経験とか、そういったものを踏まえながら、山北に合ったようなそういったような人的な支援というか、人を集めて、そしてまた協力していただくというようなことが必要だというふうに思っておりますんで、それらは有効的に使えるものは使っていきたいというふうに思っております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 今具体的に、今後の話になるんです。ウィズコロナに向かっても、特に今は考えてらっしゃることはございませんでしょうか。

議 長 町長。

町 長 今、提案を受けてるという状態でありまして、ただ、組合せとしては、ふるさと納税を使って、そして、またそういったような組織体を組み上げていくというようなことを今考えておりますけど、まだ現実に、まだそういったような中で提案を受けて、こちらで検討してるという状態でありますので、私としては早く進めて、そういったようなことを山北町に来ていただいて、そしてふるさと応援給付金を使って、そういったような人的なものもつながれば一番いいんじゃないかというふうに思っておりますんで、コロナは、一つのチャンスというか、そういったようなことだと思っておりますので、山北町、これだけ自然があって、そして来ていただける方が、みんな、いいとこだと言っただけですんで、そういった意味では、ぜひとも早くそういったようなことを進めていきたいというふうに思っております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 ただいまお答えいただきましたような取組があるというのは伺いましたが、

庁舎内で特にそういう、これはとても大事なことだと思うんですよ。どの議員さんもみんなおっしゃいますけど、観光についてとか、山北のよいところが、今後のコロナ、ウィズコロナ、アフターコロナに山北が何とか生かせるんじゃないかというような今、場だと思うんですが、庁舎内の中に何かチームとかはございませんでしょうか。

議  
町

長 町長。

長 庁舎内で特にそういったような特別のチームというか、そういったようなことは今やっておりますけども、現在三つほどのいろいろな団体から、町が直接ではないんですけども、そういったようなものも受けております。一つは住宅建て売り業者、これが大々的にやりたいというようなオファーを受けております。

山北町、今まではなかなか建て売りをやっていただける業者がいなかったと。建てても売れないんじゃないかというようなことで非常に少なかったんですけど、今、御案内のようにいろいろなところで建て売り住宅が販売しております。ということは、業者の皆さんから見ると、山北はまだまだ売れるというような認識らしいです。ですから、ほかから山北町へ住んでもいいから来たいというような方が、このコロナで多くなっていると、そういうような状況がまず一つありますので、私としては、そういったような建て売り業者、民間ですけども、山北のところを開発していただけるのは非常にありがたいんじゃないかというように一つは思っております。

それから、別の業者の方は、やっぱり防災として、こないだ境町とも防災協定を結びましたけども、こういったような中で空き家が多い、その空き家を活用して防災拠点にしたいと。シェルターを中に入れてやりたいということで、これも1軒は全く民間でございますので、岸のほうで1軒、これから着手するそうでございます。そういった中で、さらに、それを町も協力して加速化できないかというようなことで、今いろいろなところを当たっております。

もう一点は、やはり町の施設、例えば高松山分校とか、あるいは森林館・薬草園、様々な町の施設の中で遊休施設に近いものがございます。これらをやはり再生したいというようなことでオファーを受けております。こういっ

たことも含めて、ただ当然、復元するためには人もお金も全部つぎ込まない  
となりませんので、そういったものについて、できるだけ町が負担をしない  
でできる方法はないかということでやっておりますので、非常にそういう案  
件が今多くなってきているというようなことでございますので、アフターコロ  
ナについては、非常に先行きがあるのではないかとというふうに私個人として  
は思っております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 今お話の中で建て売りもそうなんですけど、空き家もということで、ぜひ  
空き家については、もう毎回いろんな議員も言われますが、空き家を減らし  
て、空き家に住みたいという方はいるんですけど、そこにお金をかける、か  
けないとどうしても暮らしが始まらないと。そんなときに、もうちょっとこ  
う、今もあるんですけども、さらに相談体制とか支援金、改修の支援とか  
そういうことに対してのやはり町が負担するのか、そういういい民間が考え  
て負担してくれたら一番いいんですが、そういう方向性というのは、新しい  
のもいいんですけども空き家もぜひ両方一緒に考えていくということは重  
要ではないかと思うんですがいかがでしょうか。

議 長 町長。

町 長 空き家自体はいろいろなタイプがございます。小さなものから大きな物件  
まで、また売却というようなことを考えてらっしゃる方もいらっしゃいます。

そういった中では、様々な案件がいろいろな条件によって、考え方を変え  
なければいけないと思っております。町といたしましても、非常に定住対策  
等でやったりしましたけども、今現在は貸し物件が非常に少ない、売り物件が  
幾つかあるということで、ほとんどのところが案件が成約しているというよ  
うな状態であります。

空き家はあるんだけど、なかなかそこに登録していただけないというよ  
うなこともありますので、登録していただいたときには、できるだけ早くそれ  
らをかろうようにやるのはもちろんですけども、あるいは貸家でなくても貸  
地も出ております。その土地を有効利用できるかどうかというようなこと  
も含めまして、町として、どういうようなことができるか、今までやったこ  
とないことでも、やっぱりチャレンジしてみないと分かりませんので、そう

いった意味ではやってみたいというふうに思っております。

特に先ほど言いました茨城県の境町さんに関しては、非常に私もいろんな情報を聞くんですけども、一つのやり方としては住んでいただけたら何年後かにはそれを差し上げちゃうなんていうところも境町ではあるみたいですけども、そこまでできるかどうか分かりませんが、非常にいろいろな空き家対策というのは、これからしていかなければいけないというふうに思いますし、また、その空き家の所有者は個人ですので、そういったような町民の方に意向というのは十分踏まえながら、その中で、範囲の中で町としてできる限りのことをしていきたいというふうに思っています。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 それでは、1についてはそろそろ終わろうと思うんですが、一点アンケート結果の中で、プレミアム商品券の中でちょっと気になったことがございます。やはりこの券を売るというのは誠にいいことなんだけれども、券さえうちでは買えないというか、現金給付とかというものを望む感じが、もちろんありました。ありましたから、あまり買えない。貧困対策とかとすごく言われるんですけども、山北町でも先月4月27日に補正出て議決しましたけど、給食費の無償化や副教材の無償、今年は、令和2年に引き続き、また支援があるというありがたいことがございます。そういう声もありがたいということ聞きます。子ども食堂というんですね。そういうものを設置してもらうとか、例えば、以前にも質問したときに、貧困とかそういうことは把握できないというか、個人情報でとかおっしゃる答弁をいただいたんですが、今後、町がやるとは限らず、例えば社会福祉協議会、民間にやってもらうとかを含めて、子ども食堂とかいうものについての考え方をちょっと伺っておきたいと思います、ここで。

議 長 福祉課長。

福 祉 課 長 子ども食堂ですが、全国の自治体でそういったことはどんどん広まってきているということは承知してございますが、町としましては、現在、お子さんの数が大分減ってきているということもございまして、そこまでは考えていないというのが実情でございます。ただ、今回の議会でもそうですけども、貧困対策というのは必要だと考えておりますので、必要な対策を計上させて

いただいているというところでございます。

議 長 副町長。

副 町 長 子ども食堂をはじめとした貧困対策でございますが、これやり方によって非常に難しく、例えば、あくまで例えば町内で食事ができるところに行ったときに、何か食事をやったときにすると、ちょっと経済的に困ってるというか、貧困の人が分かってしまうとか、プライバシーの問題とかありますので、その辺は本当に町長も慎重に考えていかなきゃいけないということで、何か効果的なところで何かやりたいですけども、やはりプライバシー等の関係で何かいいところが、要するにいつも来ていると、あのうちは貧困なんだということがないような形で考えていきたいとか、ただ、全員の人が、そうすると、また経費の面で非常に難しくなるし、その辺のところは考えていくということでございます。何かやりたいということです。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 大変難しい問題だとは分かっております。ですから、範囲を決めないというか、みんなおいでというような形にしなければこれはできないよねということがあります。ですから、そういうみんなおいで、家族は、親は二人とか一人とか決めて、そして、やってみたことの結果は分かりませんが、もはや、でも世の中はそんなこと言っていられないほど、貧困詰まってるという方は山北にはいらっしゃるかどうかちょっとそういうことは全然つかめないのでありますが、町としては、ちゃんと御承知おきのことだと思うんですが、その上で何か民間でやっている、いいやり方があったら、ぜひそういうこともどこか相談してやってほしいと思う気持ちでいっぱいなんですけども、いかがでしょう、教育長。教育長じゃない、福祉ですね。

議 長 教育長。

教 育 長 このコロナ禍の関係で、両親というか、父親がなかなか働き場所がなくなってしまったということで、食べることに非常に困難だというような相談がちょっとありまして、そういう情報もありまして、福祉課のほうにつながりまして、そして福祉課のほうでは食材をNPO法人の方から冷凍食品を頂いてます。今、公表してないんです。広報してないんです。ですから、今後はそういった面を今度の補正予算の中で福祉課のほうも対応していきますけど



も、食材だけじゃなくて、いわゆる粉ミルクだとか、あるいは生理用品だとか、そういったものを困ってる家庭に対して支援をしていこうという動きを今つくって、今回補正予算に福祉課のほうで計上する予定になっています。そういった中で、先ほど言った一つの例として、そういった食材を困っているということで、福祉課のほうから食材を渡して、そうした対応をしたという例もございます。ですから、子ども食堂だけがあれじゃなくて、こういった形で支援できるかということをも町としましても考えていきたいというふうに思ってます。ですから、直接的に町が運営する子ども食堂を運営していくのか、あるいは民間的にお願いする面を町として支援するのか、そのところをしっかりと慎重に考えていかなきゃいけないというふうに思ってます。

先ほど、町長から話がありました境町という茨城県、そちらのほうのやり方としましては、食堂に行ったときに補助券みたいなそういった券を渡して安く食べれると。子ども食堂で例えば100円だとか200円で食べれるとかいう制度も今のところやっておりますけども、境町はそういう形でやっていると。ただ、境町はコンパクトな町で、食堂もいっぱいあって、ですから、かなりそういう面では有効だということなんですけども、山北町については、これだけ広いところで、食べるところが非常に限られているという。そういった中で、それをそのまま活用することはできないということで、町としてどういう形がいいのかということは今検討してるということで、一つの第一弾として今度の補正予算でそういう考え方を示すということでございます。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 誰一人取り残さないという、今後のアフターコロナのことにもありますし、そういうお考えで進めていただくということは大変一歩進んできているという感じは受けまして、ありがとうございます。

それでは、その貧困対策については、1番については終わらせていただきまして、次に、2番のコロナ対策として新たな助成金、自治会のことで伺います。

今ここにも配分がなされて、1連合、100万でということ。あとは世帯別に1,000円ということ。この何にでも使えるという解釈でよろしいんでしょうか。町長、御説明のときにはコロナ対策として何か、例えば地域のイベン

トとか祭りややったときに、貸借のものもそうなんですけど、人的に何かどなたかプロを頼まなければ地域じゃできないよなんていうとき、そういうような委託なんかにも使ってもいいんですよなんておっしゃったような気がするんですけど、例えば修繕とか備蓄品とかにも使ってよろしいものなんですか。

議 長 町長。

町 長 別に修繕でも備蓄でも当然構わないというふうに考えてます。基本的には、当初イベント等がほとんど中止ということで、自治会等でもイベント企画していただけるんなら、それを業者のほうに、レンタル業者のほうに頼めばそういったような密が防げるのではないかとというようなことでも考えましたけれども、実際にやっていく過程において、当然夏の夏祭りなんかも中止が決まったりそういったところもございますので、そういったことだけではなくて様々なことでコミュニティ活動がさらに工夫できるようなためには、当初から少しでも予算があったほうが考えていただけるだろうということですので、これが駄目あれが駄目というのはありませんので、ぜひ使い勝手のいいようなことで考えていただければというように思っております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 時間がなくなりましたので、3番のワクチンの接種率の目標はということで、7月までに全て終わるようになるよ、山北町はというような情報も見えています。それで、昨日までは順調に行ってると思います。今後の計画は、今盛んに言われてます若年層とかのことも含めて64歳から16歳までと決まっていますが、町はどのような、基礎疾患のある方からというふうに書いてございますが、その後はどのように、集団がまだ続くのか、個別になるのかとか、計画をお伺いします。

議 長 町長。

町 長 おっしゃるように、今現在65歳以上の方は昨日現在で45%以上というような1,900名以上が接種を受けた、2回終わった方も数百名おります。このままでいけば65歳以上については、一応、国のほうの7月までに80%は行くのではないかとというふうに考えておりますけれども、64歳以下の方、基礎疾患がある方がまず優先ということでございます。しかし、実際に子どもたちを預

かるいろいろな保育園、幼稚園あるいは学童クラブとか様々なところの先生方、あるいは皆さんが関係してる方のやはり心配でございますんで、そういった方も含めて、早く64歳以上を接種を始めたいというふうに今計画しております。

ですから、当然それは個別接種でなくて集団接種をまず優先して始めて、そして、それがある程度取まれば最終的には個別接種になるだろうというふうに思っておりますけど、まだまだ集団接種のほうを進めていかなければいけないというふうに思ってますんで、山北町だけじゃなくて、ほかの町で遅れているような町をもうぜひ受け入れて、みんなで、上地区全員で早くそういったようなワクチン接種が終わればいいなというふうに思っております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 例えば、職域、大学とか言われてる中で、山北高校、県立ですから県のあれでしょうけど、県立高校と通信高校がありますが、そういうところに対しても何か支援、支援できる余裕がこちらにもなければ、余裕がなければできないことだと思いますが、そういうことはオファーというかあったんでしょうか。

議 長 町長。

町 長 県立高校については、県のほうでやるというふうには思っておりますけど、今、国のほうから大学とか専門学校を職域でやってほしいという依頼が来るそうです。ですから、そのためには非常に教室があるから場所はいいんですけど、先生方あるいはまた看護師さんとかいろいろな方を集めなきゃいけないということで、非常に苦慮しているというのを昨日聞きました。

やはりそういった意味では、学校関係というのは非常に場所がありますんで、スタッフさえそろえば、場所的には非常にやりやすいところだというふうに思っておりますので、そういった意味では、国のほうがどういうふうに動くか、今聞いたものでは、そういった専門学校や大学、そういうようなところでございますけど、県立高校については、多分県のほうでやるんだろうというふうに思っております。

議 長 瀬戸恵津子議員。

1 番 瀬 戸 一応、16歳までと決まっているんですが、希望があれば12歳までも保護者

の同意で可能等は聞きますが、オリンピック観戦が予定されてますね。そういう場合はどうなっていくんでしょうか。

議 長 教育長。

教 育 長 オリンピック・パラリンピックの子どもたちの観戦チケットについてですけども、山北町はもう既に御案内のとおり、510枚、ソフトボールそれから野球、サッカーそれから自転車、この競技について申込みまして、それですとずっとこれまで来ました。そういう中、県のほうからキャンセルについて連絡がございまして、当初は6月1日から23日まででキャンセルをすることが可能だということで、その後になりますと、もしキャンセルになった場合には支払いが戻ってこない、キャンセルが戻らないと、こういう状況になるということで連絡がありました。

今、オリンピックのほうの観戦がそのままでできるのか、2分の1になるのか、無観客になるのか、その辺も全然見通せない状況でございます。

山北町の子どもたちの観戦につきましては、当初から学校の授業の一環で行きたいということで全員を対象に、特に小学校については。中学校については県総体とか部活動の大会がございまして、希望者を募っているという、そういうふうな考えでこれまでずっと来ました。ですから、小学校についても希望者のみじゃなくて、授業の一環ですから、先生方がそれで引率して、そして子どもたちがそれに参加すると。こういう形で3年生から6年生までを対象にして、そういう状況でした。

学校でも大変心配してまして、このまま観戦できるのかと、感染リスクについてはどうなんだということで、教育委員会と学校と話をしまして、担当課だとか町長にお話をしながら、ずっとこの今年度に入ってからずっと進めてきました。そういった中で、やはり厳しいだろうということで、実は、それが県からの連絡が急遽9日までにキャンセルしないと駄目だというような、また再度の連絡ありまして、これはちょっと待たないですぐに判断しなきゃいけないということで、学校としても非常に危惧してると、そういう中で果たしてこのまま進めていいのかということで、町長といろいろ話をしまして、最終的には8日の日に県のほうにキャンセルをさせていただきました。

ということで、ただ当初から夏休み、暑いところでの観戦を計画してましたので、熱中症対策ということで、2年前については、マスクを着用だとかそんなこと考えてませんでしたので、帽子を記念に、子どもたちも同じ帽子をかぶっていると山北町の子どもどこにいるかというすぐ把握できるというそういうメリットもあったり、感染症防止にもなるということで帽子を作るということで、これ既に作ってございます。そういう中で、今回はチケットは観戦はできませんけども、その記念に山北オリジナルの帽子を小学生1年生から中学3年生まで配付予定で、これから、また議会のほうにもお示しさせていただきますけども、そういう計画でおるとということで、そういう状況でございます。

議 長 制限時間とはなりましたが、最後、瀬戸恵津子議員まとめた形で御発言があればどうぞ。

1 番 瀬 戸 今、小学生のオリンピック観戦中止という、日々刻々といろいろな状況が変わっていく中で、大変こういう、状況が変わっていく中でこういう質問ちょっと戸惑ったんではあります、しかしながら一番今重要なこととございますし、最後のところで、今後町長のアフターコロナについての政策、しっかりここにお答えがありましたので、変わっていかねばいけないということで、元には戻らないだろうと、そこで、山北のいろんなすごい宝がこれから発揮できるんだと思いますので、ぜひいろいろなことにチャレンジして、いろいろな方の声を聞きながら進めていっていただきたいと思うわけでございます。

議 長 町長。

町 長 おっしゃるように、コロナワクチンの件もありますし、また、そのアフターコロナというようなことで、山北町が今置かれてる立場からしますと、まあ一つのチャンスではあるなというように思っております。ですから、いろいろな方が、今、様々な提案を町に持ってきているんだろうというふうに思っております。

非常に私としても、先ほどのオリンピックに関しては、この後の全協でお話しする予定でございましたけども、質問受けましたので、今決まってる中で答えさせていただきました。ぜひ皆さんと一緒に山北町をさらに活性化し

ていきたいというふうに思っております。